

CRがキミ達の夢を叶えます

御代田知加子クン

(22)の

サーキットラン

1日体験レポート

ザ・体験



前回の「ザ・体験」では、鈴鹿シルバーカップ自動車レースのピットクルーにチャレンジし、モータースポーツの楽しさを身近に体験したと思いきや、今回は実際にサーキットを走りたいという女の子が出現した。

その何とも頼もしい女の子は、御代田知加子クン22歳。彼女は、かわいい容姿とは裏腹に、根っからクルマが好きなカーマニア。とにかくドライブに行く時には必ず自分でス

テアリングを握らなければ気がすまないというぐらいだから、相当なモノだ。その彼女が、1度でいいからサーキットを走ってみたいと言ってきたものだから、CRスタッフも黙っちゃられない。さっそく彼女が参加できる走行会を探し回った結果、T.R.S.C.C(トライアルレーシングスポーツカークラブ)のスポーツ走行会に参加させてもらうことになった。

今回、知加子クンが参加した走行会は、T.R.S.C.C(トライアルレーシングスポーツカークラブ)が主催するスポーツ走行会。この走行会は、クラブ員の親睦を深めると共に、モータースポーツの楽しさを知り積



極的に参加していくためのステップとして開催されるもので、サーキット走行におけるマナー、ルール、走行テクニックなどのレッスンとして行われている。

そこで、我々「ザ・体験」プロジェクトチームは、このT.R.S.C.Cさんの協力を得、知加子クンの夢であるサーキット走行を実現させることになった。

☆レーシングスーツに身を包みドキドキ、ワクワク

4月28日、月曜日。当日は、朝から小雨がバラつき、時折り雨足も強くなり最悪の空模様。目的地、中山サーキットまでの道のり、楽しいはずの車内も何となく暗く、知加子クンの表情も不安な気持ちが先に立つのか元気がない。そんな彼女を気遣って、「大阪は雨でも中山サーキットは降っていないことが多いよ」と声をかけるが、やはり不安は隠せないのか口数が少なく、前途多難な取材にスタッフ一同思わずため息をつくばかり。

だが、彼女の、また我々スタッフの日頃の行いがいいためか？ 中山サーキットに近づくにつれ空は明るくなり、サーキット周辺は雨の降った様子もない。また、雲の間からは

うっすらと太陽の光が差し込み、数時間前とはうって変わり彼女以下スタッフの顔にも明るさが戻った(何となく某テレビ局のスペシャル番組のようなストーリーが展開しているが、これは事実だ)。

午後12時30分。中山サーキットへ到着。さっそく赤のレーシングスー

